

平成27年度自転車製品事故情報<消費者庁公表>の収集について  
(自転車等研究開発普及事業)

(一財) 自転車産業振興協会 技術研究所

■はじめに

当協会・技術研究所では、自転車等研究開発普及事業の一環として、自転車の品質確保と品質改善に寄与することを目的として、消費者庁が公表している自転車に関連する重大事故情報を収集したので、その概要を報告する。

■平成27年度消費者庁公表の事故情報

消費者庁の重大製品事故情報は、製造事業者・輸入事業者からの事故報告を受けて公表されるが、公表の際、事故情報の分析を行い事故が製品に起因して生じたものか否かを区別して行っている。事故が製品に起因していると疑われる場合は事業者名、機種・型式、事故の内容等を、それ以外のものは事故の概要のみを消費者庁のHP等で公表している。

技術研究所では、消費者庁が公表した重大製品事故情報のうち、自転車関連情報については公表され次第、速報として技術研究所のHPに掲載して注意喚起を図っている。

平成27年度自転車関連の重大製品事故情報として掲載した事例は36件であり、その内訳は、表1に示すとおりである。事故件数は前年度42件に比べて36件と若干減少した。製品別では自転車の事故情報は21件で前年度より3件減少した。また、折りたたみ自転車は5件で前年度より3件減少した。電動アシスト自転車は6件で前年度より4件増加した。電動アシスト自転車用リチウムイオンバッテリーの充電中による火災事案が4件と前年度より半減した。なお、事故情報の一覧は表2～表5に示す。

また、自転車関連の重大製品事故36件のうち、製品に起因していると疑われる事故は14件で前年度27件より約半減した。残りの22件は、製品起因か否かが特定できていないが、事故調査・原因分析を継続して行っているため、今後、原因等が特定される場合がある。

表1 自転車関連製品事故情報件数

製品名		自転車	折りたたみ自転車	電動アシスト自転車	バッテリー	合計
件数	26年度	24 (14)	8 (6)	2 (0)	8 (7)	42 (27)
	27年度	21 (6)	5 (4)	6 (0)	4 (4)	36 (14)

( )内は製品起因が疑われる事故

## ■製品ごとの報告内容概要〔事故内容・原因等は表2～表5を参照〕

### ○自転車

21件の情報があり前年度より3件減少している。そのうち、製品起因が疑われる事例は、前年度の14件から6件と減少傾向がみられる。その事故内容は、フロントフォークの破損（2件）、フレーム破断、前輪・後輪外れ（3件）、ハンドル及びグリップの外れ、リサイクルショップで購入した自転車フレームの破断事例など、乗員の身体に重大な影響を及ぼす事例が報告されている。また、チェーン外れ（2件）、車輪ロックが疑われるもの、原因が特定できない転倒等が報告されている。

### ○折りたたみ自転車

5件の情報があり前年度より3件減少した。そのうち製品起因が疑われる事例が4件であり、いずれも走行中又は乗車中の折りたたみ部の破断、フレーム破断、折りたたみボルトの破断などであり、乗員の身体に重大な影響を及ぼす事例が報告されている。

### ○電動アシスト自転車

6件の情報があり前年度とより4件増加した。走行中の転倒と衝突（3件）、フレーム破断、停車中のスタンドはね上がり、ブレーキの不具合などであるが、原因は調査中である。

### ○バッテリー（電動アシスト自転車用）

リチウムイオンバッテリーの充電中の火災事例が4件あり、その全てが製品起因が疑われる事例として報告されている。対象品は一部リコールが実施されている。

## ■社告（リコール等）について

平成27年度に公表された自転車関連の社告（リコール等）は12件であった。その内訳は、クイックリリースの不具合（3件）、サスペンションホークのボルト破断、ペダル破断（2件）、フロントフォーク接合部破断、電動アシスト自転車用バッテリー、自転車用ヘルメット、ハブ・ステムの強度不足などあり、経済産業省及び各社のHPにより情報公開されている。

## ■おわりに

自転車製品事故情報を収集・整理し、それらの情報を分析した上で、必要に応じてJISの改正、技術的課題の解決、原因究明等に繋げていくことが必要であると考え。そのため、技術研究所では環境・安全のための評価分析調査事業の一環として、今後も自転車製品事故情報を継続して収集し、分析等を加えるとともに、必要に応じて製品事故事例が緊急性を要するもの、或いは消費者への波及が心配されるものの原因究明調査等を行い、消費者の安全確保と品質改善に寄与していく所存である。併せて、個々の製造・販売事業者よりの試験依頼、原因究明調査にも対応していくので活用をお願いしたい。

以上

表2 消費者庁公表自転車関連製品事故情報（その1）

管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
A201500128	自転車	ホダカ(株) (輸入事業者)	当該製品で走行中、前輪が外れ転倒し、負傷した。調査の結果、当該製品の前ホークとハブを固定するねじが十分に締まっていなかったため、使用の繰り返しでねじが緩み、使用中の段差などの衝撃で前ホークから前輪が外れて事故に至ったものと推定されるが、前輪ががたついた状態のまま使用を継続したことも、事故発生に影響したものと考えられる。なお、取扱説明書には「乗車前の点検や日常点検時に、各部のねじは緩んでいないか、車輪はしっかり固定されているか、などを点検する。」旨、記載されている。	製品起因が疑われる事故
A201500810	折りたたみ自転車		当該製品で走行中、ブレーキを掛けたところ、転倒し負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201500765	自転車	トレックジャパン(株) (輸入事業者)	当該製品で走行中、当該製品のフロントフォークが破断し、転倒、負傷した。	製品起因が疑われる事故
A201500676	自転車		当該製品で走行中、転倒し負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201500629	折りたたみ自転車	(株)アキボウ (輸入事業者)	当該製品で走行中、当該製品の折りたたみ部が破損し、転倒、腕を負傷した。	製品起因が疑われる事故
A201500620	電動アシスト自転車		当該製品で走行中、転倒し脚を負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201500594	自転車		当該製品で走行中、当該製品のハンドルが外れ、転倒し負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201500551	折りたたみ自転車	(株)池商 (ゼビオ(株)ブランド (輸入事業者))	当該製品で走行中、転倒し手首を負傷した。	製品起因が疑われる事故
A201500541	自転車		当該製品で走行中、転倒し右手指を負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故

表3 消費者庁公表自転車関連製品事故情報（その2）

管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
A201500469	電動アシスト三輪自転車		当該製品に傾斜地で乗車していたところ、転倒し重傷を負った。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201500431	電動アシスト自転車		当該製品で走行中、転倒し負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201500428	自転車		当該製品で走行中、転倒し右脚を負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201300340	電動アシスト自転車用バッテリー（リチウムイオン）	神田無線電機株式会社（輸入事業者）	充電器に当該製品を接続して外出したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。調査の結果、当該製品内部から出火したものと推定されるが、焼損が著しいため、事故原因の特定には至らなかった。	製品起因が疑われる事故
A201500364	自転車	アサヒサイクル株式会社（輸入事業者）	当該製品で走行中、前輪がロックして転倒、負傷した。	製品起因が疑われる事故
A201400541	自転車	ブリヂストンサイクル株式会社	当該製品で走行中、当該製品のフレームが破断し、転倒、負傷した。調査の結果、当該製品の破損はヘッドパイプの溶接部付近に発生しており、破断部近傍に溶接線に沿って多数の微細なクラックが認められたことから、溶接施工に起因して発生したクラックの影響で破損し、事故に至ったものと推定されるが、当該製品の各部品の外傷や変形等から、使用状況も事故発生に影響したものと推定される。なお、当該製品の同型フレームはJIS規格を満たしている。	製品起因が疑われる事故
150824-002	電動アシスト自転車		電動アシスト自転車で下り坂を走行中、フレームが断裂して体が前に投げ出され、顔面挫創等の重傷。	地方公共団体からの通知
A201500342	自転車		当該製品で走行中、当該製品のフロントフォークが破損し転倒、頭部を負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201500302	自転車		当該製品で走行中、当該製品のチェーンが外れ転倒し、肩を負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故

表4 消費者庁公表自転車関連製品事故情報（その3）

管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
A201500260	電動アシスト自転車用バッテリー（リチウムイオン）	㈱THE NeO（輸入事業者）	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	製品起因が疑われる事故
A201500252	自転車	㈱ミヤタサイクル（輸入事業者）	当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、左手首を負傷した。	製品起因が疑われる事故
A201500238	自転車		当該製品で下り坂を走行中、ブレーキを掛けたが停車中の車に衝突し、転倒、手首を負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201400449	自転車	㈱あさひ（輸入事業者）	当該製品で走行中、転倒し、右手を負傷した。調査の結果、当該製品のハンドルステムとホークステムとの固定ボルトの締め付けが十分でなかったために、運転中のハンドル操作にホークステムが追従せず転倒したものと推定される。	製品起因が疑われる事故
A201500212	自転車		当該製品で走行中、前輪がロックして転倒、負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201500203	電動アシスト自転車		当該製品の前側幼児用座席に幼児（1歳）を乗せようとしたところ、スタンドが跳ね上がり、当該製品ともに幼児が転倒し、負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201500194	自転車		当該製品で走行中、ハンドルグリップが外れ転倒し、負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201500191	自転車		当該製品で走行中、前輪がロックして転倒、負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201500190	自転車		当該製品で走行中、後輪が外れ転倒し、左腕を負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201500170	自転車		当該製品で走行中、前輪が外れ転倒し、顔面を負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201500165	自転車		当該製品で走行中、転倒し、左腕を負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故

表5 消費者庁公表自転車関連製品事故情報（その4）

管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
A201500142	電動アシスト自転車	パナソニックサイクルテック(株)	当該製品からバッテリーを充電中、当該製品のバッテリー及び周辺を焼損する火災が発生した。	製品起因が疑われる事故
A201500138	折りたたみ自転車	(株)アキボウ（輸入事業者）	当該製品で走行中、当該製品の折りたたみ部のボルトが破断し、転倒、両手を負傷した。	製品起因が疑われる事故
A201500101	電動アシスト自転車	パナソニックサイクルテック(株)	当該製品からバッテリーを取り外し、充電後に保管していたところ、当該製品のバッテリー及び周辺を焼損する火災が発生した。	製品起因が疑われる事故
A201500077	自転車		当該製品で走行中、チェーンが外れ転倒し、顔を負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201500055	電動アシスト自転車		当該製品で下り坂を走行中、ブレーキを掛けたものの、対向してきた自転車に衝突し、負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
150406-003	自転車		リサイクルショップで購入した自転車で路上を走行中、フレームが折れて顔面から転倒し、右上顎洞骨折等の重傷。	地方公共団体からの通知
A201500029	折りたたみ自転車	(株)ジャッパーナ（輸入事業者）	当該製品で走行中、当該製品のフレームが破断し、転倒、足を負傷した。	製品起因が疑われる事故